



ここにいるから

Vol. 24

発行 2023.6
発行者 天草漁協

イルカ調査室に初研修生

令和5年度に入り、調査室では研修生の受け入れを開始しました。記念すべき第1号は、神戸からの学生さん。水族館のイルカトレーナーを目指しているそうです。授業で野生のイルカについても学び、関心をもったとのこと。そして、ソーシャルメディアで当事業を発見し、連絡をくださいました。

初めての研修生ではありませんが、なんとファーストコンタクトからたった1ヶ月ほどで実現。初回ということもあり、期間は短めの1週間です。スケジュールは最下段参照↓

今回の研修で、初めて天草へ来て、さらに、これが初めて野生のイルカに会うきっかけとなりました。というわけで、初対面では、感激でウルウルしている・・・私も、むかしの自分を思い出すような気持ちになりました。



研修への参加ありがとうございました

今回の期間、もともとはとても天気と不安定な予報でしたが、始まってみると良いほうに外れたので、行程には全く影はありませんでした。(良かった!!)

双眼鏡もカメラも使ったことがない状態から始まり、たった数日ですが成長をみせてくれました。明るく積極的で、なにより、どんな体験も楽しく取り組んでくれて何よりでした。イルカ好きもますますパワーアップ☆

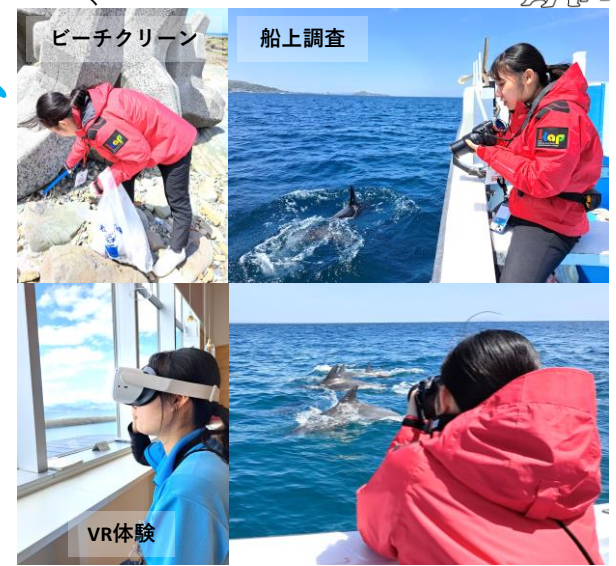
研修の目的は、野生のイルカや環境課題についての学習、研究・調査体験です。それらに加え、「研修を通してイルカについての理解を深め、動物と人をつなげる仕事の役割や責任について考える」ことにも焦点をあて、意識してもらうように努めました。

正解のない問いであり、私自身もずっと問い続けていることです。短い期間でしたが、いつの間にか、その目や言葉に、自信や力強さが宿ったように感じました。

今回の期間、もともとはとても天気と不安定な予報でしたが、始まってみると良いほうに外れたので、行程には全く影はありませんでした。(良かった!!)

双眼鏡もカメラも使ったことがない状態から始まり、たった数日ですが成長をみせてくれました。明るく積極的で、なにより、どんな体験も楽しく取り組んでくれて何よりでした。イルカ好きもますますパワーアップ☆

研修の目的は、野生のイルカや環境課題についての学習、研究・調査体験です。それらに加え、「研修を通してイルカについての理解を深め、動物と人をつなげる仕事の役割や責任について考える」ことにも焦点をあて、意識してもらうように努めました。



天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ!

研修スケジュール

1日目	天草到着後 打合せ
2日目	オリエンテーション 地域見学① イルカウォッチング体験
3日目	陸調査・船上調査 座学：天草のイルカ
4日目	陸調査・船上調査 座学：天草のイルカ研究
5日目	休日 フィールドトリップ
6日目	イルカセンター職場体験 地域見学② みぞか号見学
7日目	陸調査・船上調査・海岸清掃 座学：調査データの研究
8日目	AMフリータイム PM意見交換会 天草出発



記事や活動についてのお問い合わせ

- Facebook: 天草イルカラボ
- Instagram: amakusa_dolphin
- 検索: イルカの聖地